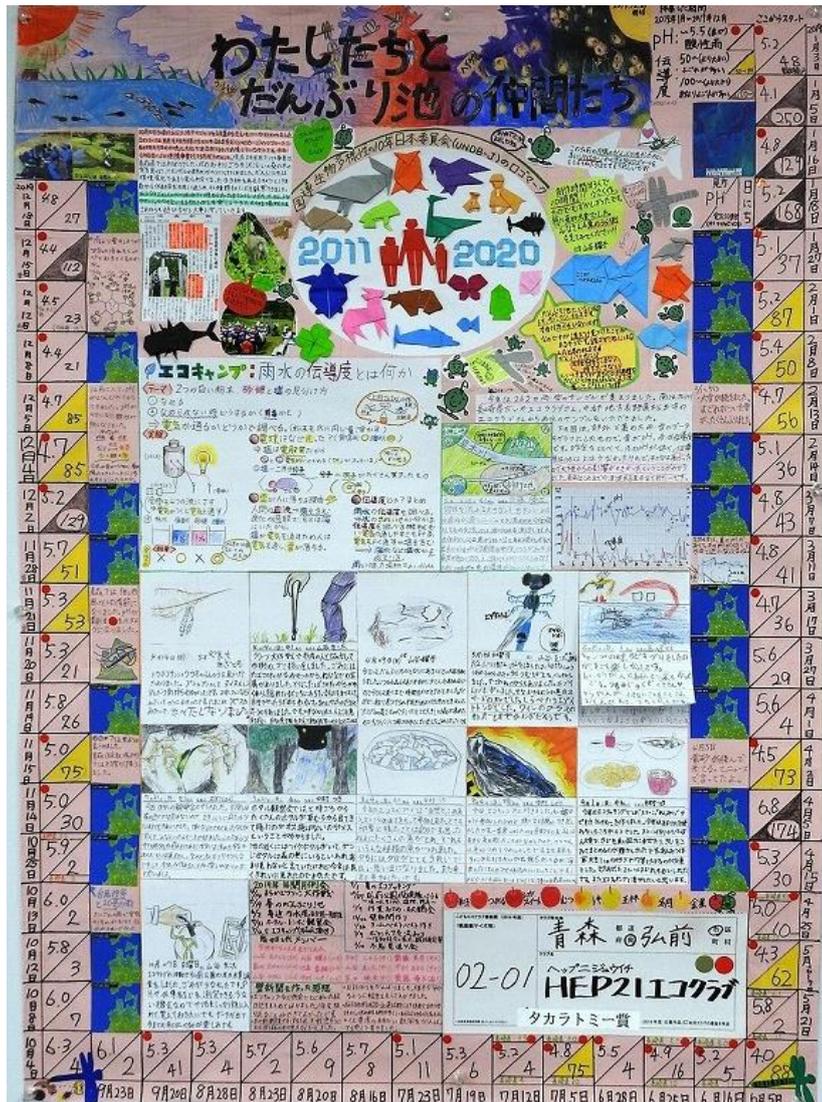


青森県 HEP21エコクラブ（弘前市 地域の団体のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- 1) かべ新聞をみやすくするため、文字に色をつけたり、折り紙の大きさや色を変えたりしました。
- 2) エコキャンプなど例会ごとにかいた絵日記をまとめてはりました。1年を振り返ることができてよかったです。
- 3) 絵日記作りは、様子がわかるように絵をくふうしてえがきました。
- 4) この青森県弘前市の片隅の「だんぶり池」だったのに、急に UNDB-J（国連生物多様性の10年日本委員会）からすてきなロゴマークをもらえて、私たちはとてもうれしいです。このすてきなロゴマークは日本伝統の折り紙なので、本物の折り紙でつって壁新聞に貼り付けました。制作時間は3人で10時間！！小さく作ったのでむずかしかったです。また実際に折ってみると生き物の大きさのバランスが合わず何個も作り直しました。特に魚が大変でした。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たち HEP21 エコクラブは、16年間雨水の分析を行っており、メンバーが代々引継ぎ蓄積したデータをもとに（国立）弘前大学と一緒に PH と電導度の分析をおこなって壁新聞に発表してきました。またメンバーのひとり（中学一年生）が2020年1月「第14回 HEP21 自然学習会」にて“海洋プラスチックゴミを解決する3R”と題して弘前市民にむけて発表（歴代最年少）する頼もしいメンバーが出てきました！

タカラトミー賞

みなさんの身近にある「だんぶり池」はいろいろな動植物が生きる素敵な自然学習の場であることがとても伝わりました。池の源となる雨水は1年かけてしっかり観測し分析されています。

壁新聞も折り紙や絵日記等インパクトのある見ごたえ充分な内容でした。先輩から引き継いだこの活動をどんどん進化されることを期待しています。

（株式会社タカラトミー 関係会社管理部社会活動推進課 課長 高林 慎享さんより）